

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場会社名 明治ホールディングス株式会社  
 コード番号 2269 URL <http://www.meiji.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 佐藤 尚忠  
 (氏名) 梅本 隆司

TEL 03-3273-3917

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	841,467	—	28,643	—	28,585	—	13,519	—
21年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	183.61	—
21年3月期第3四半期	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
22年3月期第3四半期	751,250	—	296,304	—	38.4	—	3,917.97	—
21年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 288,489百万円 21年3月期 一百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

統合初年度の平成22年3月期につきましては、当期末時点の株主様に対して、1株当たり80円の期末配当を予定しております。平成23年3月期以降につきましては、中間期末を基準日とする配当(いわゆる中間配当)も実施する予定です。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,124,000	—	26,000	—	26,000	—	12,000	—	162.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 76,341,700株 21年3月期 一株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 2,709,391株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 73,635,603株 21年3月期第3四半期 一株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、6ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当社は平成21年4月1日に明治製菓(株)と明治乳業(株)が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 経営成績全般

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純利益	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円 銭)
第3四半期 連結累計期間	841,467	28,643	28,585	13,519	183.61
通期業績予想値	1,124,000	26,000	26,000	12,000	162.97
通期業績予想値 進捗率 (%)	74.9	110.2	109.9	112.7	—

(注) 通期業績予想値は、平成21年11月12日修正発表したものです。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に持ち直しの動きが見られるものの、雇用情勢の悪化、引き続き低迷する個人消費など、厳しい状況で推移しました。

このような状況下、当明治グループは「2009－2011中期経営計画」初年度において、既存事業の強化・拡大と統合シナジー早期創出のための取り組みを積極的に進めました。お客さまに向けては、新しい統一ブランドマークを配した特長ある商品の積極投入等により新ブランドの市場への浸透・定着を図るとともに、競争力強化のためのコストダウンなど諸施策を推進しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,414億67百万円、営業利益は286億43百万円、経常利益は285億85百万円、四半期純利益は135億19百万円となり、通期業績予想値に対する進捗率は、売上高74.9%、営業利益110.2%、経常利益109.9%、四半期純利益112.7%と、順調に推移しました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

(2) セグメント別の概況 (連結)

(単位：百万円)

	乳製品	菓子・健康	医薬品	サービス他	合計
売上高	466,315	215,155	94,634	107,701	883,807
営業利益	14,739	3,625	8,270	2,681	29,317

(注) 売上高、営業利益は、セグメント間の取引を消去する前の金額によっております。

経営統合により当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。したがって、セグメント別の概況については、下記のとおり通期業績予想値に対する進捗状況にて説明いたします。

## ①乳製品

	第3四半期 連結累計期間 (単位：百万円)	通期業績予想値 進捗率 (%)
売上高	466,315	78.0
営業利益	14,739	133.1

(注) 従来 of 明治乳業の「食品」セグメントに相当。

市乳（牛乳類・ヨーグルト等）、粉乳（コナミルク等）、練乳、バター、チーズ、アイスクリーム、飲料、栄養食品（流動食・ヴァーム等）、畜産品等の製造・販売。

### 《主な業績のポイント》

乳業界では、値ごろ感に配慮した商品や脂肪を抑えた商品が相次いで発売されるなど、市場活性化に向けた動きもありましたが、依然として飲用牛乳の消費低迷は続き、また低価格商品への需要シフトも進みました。

かかる状況下、乳製品セグメントの概況は以下のとおりです。

- ・売上高は、ヨーグルト、粉乳、チーズ、栄養食品、マーガリン類などの好調により、セグメント全体で順調に進捗しました。
- ・営業利益は、高付加価値商品の拡販や輸入原材料コストの低減などにより、順調に推移しました。

## ②菓子・健康

	第3四半期 連結累計期間 (単位：百万円)	通期業績予想値 進捗率 (%)
売上高	215,155	69.0
営業利益	3,625	72.5

(注) 従来 of 明治製菓の「フード&ヘルスケア」セグメントに相当。

菓子、砂糖および糖化穀粉等、健康食品（アミノコラーゲン等）、一般医薬品（イソジン等）等の製造・販売、スポーツクラブの経営等。

### 《主な業績のポイント》

菓子業界は、一層の個人消費低迷やデフレの進行などにより市場が冷え込みました。また、主要原材料価格の動向が収益に大きな影響を与える状況が続いています。

かかる状況下、菓子・健康セグメントの概況は以下のとおりです。

- ・売上高は、菓子ではチョコレート群が堅調に推移したものの、その他カテゴリーは苦戦しました。健康では「イソジン」をはじめ主力品が順調に推移しました。
- ・営業利益は、チョコレート原料であるカカオ豆が依然高値水準にあるものの、菓子の収支構造改善や品種構成による原価率の改善などにより概ね計画どおりに推移しました。

### ③医薬品

	第3四半期 連結累計期間 (単位：百万円)	通期業績予想値 進捗率 (%)
売上高	94,634	74.7
営業利益	8,270	99.0

(注) 従来の明治製菓の「薬品」セグメントに、明治乳業の「その他」セグメント中の医薬品事業（大蔵製菓等）を加えたもの。医療用医薬品および農薬・動物薬等の製造・販売。

#### 《主な業績のポイント》

薬品業界では、医療用医薬品においては医療費抑制策の浸透、また、農薬・動物薬においては申請・登録審査基準の厳格化をはじめとした規制・指導が強化されるなど、厳しい環境が続いています。

かかる状況下、医薬品セグメントの概況は以下のとおりです。

- ・売上高は、新薬2製品（「オラペネム」「リフレックス」）、ジェネリック医薬品、インフルエンザ関連製品が寄与、主力品が苦戦した農薬や為替の影響を受けた海外事業を補い、堅調に推移しました。
- ・営業利益は、新薬投入効果およびジェネリック医薬品の増売などにより順調に推移しました。

### ④サービス他

	第3四半期 連結累計期間 (単位：百万円)	通期業績予想値 進捗率 (%)
売上高	107,701	76.9
営業利益	2,681	95.0

(注) 従来の明治乳業の「サービス・その他」セグメントの医薬品以外に明治製菓の「ビル賃貸他」のセグメントを加えたもの。不動産、飼料、運送、倉庫、機械技術サービス、外食、保険代理店、リース等の事業。

#### 《主な業績のポイント》

- ・売上高は、飼料事業において配合飼料価格の引き下げがあったものの計画どおりに推移するなど、全体として順調に進捗しました。
- ・営業利益は、飼料事業においては飼料穀物相場の落ち着きにより、また物流事業においては燃料コストの低下などにより順調に推移しました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 当期末の資産、負債、純資産の状況

#### ①資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は7,512億50百万円となりました。うち流動資産は3,324億97百万円、固定資産は4,187億52百万円であります。

流動資産の主な内容としたしましては、受取手形及び売掛金1,792億59百万円、商品及び製品776億67百万円であります。

固定資産の主な内容としたしましては、有形固定資産3,328億58百万円、無形固定資産101億26百万円、投資その他の資産757億67百万円であります。

#### ②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は4,549億45百万円となりました。うち流動負債は3,280億89百万円、固定負債は1,268億55百万円であります。

流動負債の主な内容としたしましては、支払手形及び買掛金1,154億6百万円、短期借入金829億57百万円、コマーシャル・ペーパー285億円であります。

固定負債の主な内容としたしましては、社債550億円、長期借入金351億46百万円であります。

#### ③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,963億4百万円となりました。なお、自己資本比率は38.4%、1株当たり純資産額は3,917.97円となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

区 分	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,455
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,784
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	847
現金及び現金同等物の期首残高	14,429
新規連結による現金及び現金同等物増加額	228
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,505

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費、売上債権の減少等により321億72百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、204億55百万円の支出となりました。

これにより、フリー・キャッシュ・フロー（営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計額）は117億17百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、金融債務の減少等により107億84百万円の支出となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は155億5百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績見込みにつきましては、平成21年11月12日発表の内容から変更しておりません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①簡便な会計処理

##### （一般債権の貸倒見積高の算定方法）

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が連結子会社の前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、連結子会社の前事業年度末に算定した貸倒実績率等を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

##### （棚卸資産の評価方法）

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、連結子会社の前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

棚卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

##### （固定資産の減価償却費の算定方法）

一部の連結子会社においては、固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算を策定しており、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定する方法によっております。

また、一部の連結子会社においては、定率法を採用している資産について、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当社は平成21年4月1日に明治製菓(株)と明治乳業(株)が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、該当事項はありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末  
 (平成21年12月31日)

資産の部		
流動資産		
現金及び預金		15,577
受取手形及び売掛金		179,259
商品及び製品		77,667
仕掛品		2,260
原材料及び貯蔵品		29,231
その他		28,873
貸倒引当金		△371
流動資産合計		332,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物		302,691
減価償却累計額		△162,894
建物及び構築物 (純額)		139,796
機械装置及び運搬具		403,955
減価償却累計額		△297,521
機械装置及び運搬具 (純額)		106,434
工具、器具及び備品		56,132
減価償却累計額		△45,507
工具、器具及び備品 (純額)		10,624
土地		67,168
リース資産		3,759
減価償却累計額		△717
リース資産 (純額)		3,042
建設仮勘定		5,792
有形固定資産合計		332,858
無形固定資産		
のれん		1,007
その他		9,119
無形固定資産合計		10,126
投資その他の資産		
投資有価証券		46,864
その他		30,082
貸倒引当金		△1,179
投資その他の資産合計		75,767
固定資産合計		418,752
資産合計		751,250



(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末  
(平成21年12月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	115,406
短期借入金	82,957
コマーシャル・ペーパー	28,500
未払法人税等	9,730
賞与引当金	5,602
返品調整引当金	289
売上割戻引当金	4,343
その他	81,259
流動負債合計	328,089
固定負債	
社債	55,000
長期借入金	35,146
退職給付引当金	15,202
役員退職慰労引当金	640
その他	20,866
固定負債合計	126,855
負債合計	454,945
純資産の部	
株主資本	
資本金	30,000
資本剰余金	98,900
利益剰余金	170,049
自己株式	△9,473
株主資本合計	289,476
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	4,974
繰延ヘッジ損益	△3,147
為替換算調整勘定	△2,814
評価・換算差額等合計	△987
少数株主持分	7,815
純資産合計	296,304
負債純資産合計	751,250

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	841,467
売上原価	558,312
売上総利益	283,154
販売費及び一般管理費	254,510
営業利益	28,643
営業外収益	
受取利息	41
受取配当金	834
固定資産賃貸料	1,079
持分法による投資利益	261
雑収入	1,045
営業外収益合計	3,262
営業外費用	
支払利息	1,942
為替差損	683
雑損失	695
営業外費用合計	3,321
経常利益	28,585
特別利益	
固定資産売却益	156
その他	97
特別利益合計	253
特別損失	
固定資産廃棄損	2,161
減損損失	91
その他	820
特別損失合計	3,073
税金等調整前四半期純利益	25,764
法人税等	11,827
少数株主利益	417
四半期純利益	13,519

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成21年4月1日  
 至 平成21年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	25,764
減価償却費	28,335
減損損失	91
のれん償却額	294
有形固定資産除却損	1,568
投資有価証券評価損益 (△は益)	13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△53
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,648
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	129
受取利息及び受取配当金	△876
支払利息	1,942
持分法による投資損益 (△は益)	△261
有形固定資産売却損益 (△は益)	△156
売上債権の増減額 (△は増加)	△24,511
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,741
仕入債務の増減額 (△は減少)	19,515
その他	△2,437
小計	41,265
利息及び配当金の受取額	988
利息の支払額	△1,781
法人税等の支払額	△8,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△19,092
無形固定資産の取得による支出	△1,554
有形及び無形固定資産の売却による収入	481
投資有価証券の取得による支出	△592
その他	302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,455
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	47,751
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△10,500
長期借入れによる収入	3,140
長期借入金の返済による支出	△12,411
社債の償還による支出	△35,000
少数株主からの払込みによる収入	65
自己株式の増減額 (△は増加)	△53
配当金の支払額	△2,547
少数株主への配当金の支払額	△155
その他	△1,072
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,784
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	847
現金及び現金同等物の期首残高	14,429
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	228
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,505

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

(単位：百万円)

	乳製品	菓子・健康	薬品	サービス他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	463,442	209,397	92,417	76,209	841,467	—	841,467
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,872	5,758	2,217	31,492	42,340	(42,340)	—
計	466,315	215,155	94,634	107,701	883,807	(42,340)	841,467
営業利益	14,739	3,625	8,270	2,681	29,317	(673)	28,643

(注) 1 事業区分の方法

事業区分の方法は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
乳製品事業	市乳、粉乳、練乳、バター、チーズ、アイスクリーム、飲料、畜産品等
菓子・健康事業	菓子、砂糖及び糖化穀粉等、健康食品、薬局・薬店向け医薬品等、スポーツクラブの経営等
医薬品事業	医薬品及び農畜薬等
サービス他事業	不動産、飼料、運送、倉庫、機械技術サービス、外食、保険代理店、リース等

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成21年4月1日に明治製菓(株)と明治乳業(株)が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は30,000百万円、資本剰余金は98,900百万円、利益剰余金は170,049百万円となっております。なお、発行済株式数は76,341千株となっております。